

令和2(2020)年度第1回 南犬飼中の教育に係るアンケート結果並びに考察

壬生町立南犬飼中学校

よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない

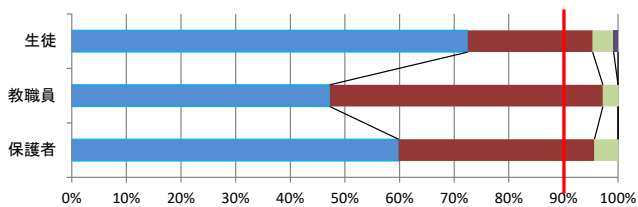
アンケートの見方

生徒、保護者、教職員それぞれが、同じ項目を「生徒の姿」を通して自己評価し、比較しています。グラフ内の縦線は、年度当初に目標値として立てた数値指標を表しています。数値指標は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合としています。

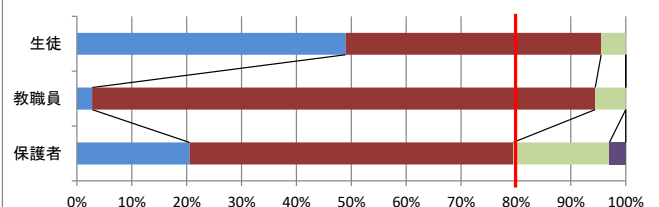
アンケート実施日R2.12.1

学校生活全般(共通)

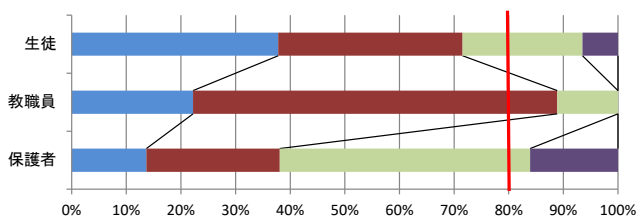
(1)楽しく学校生活を送っている



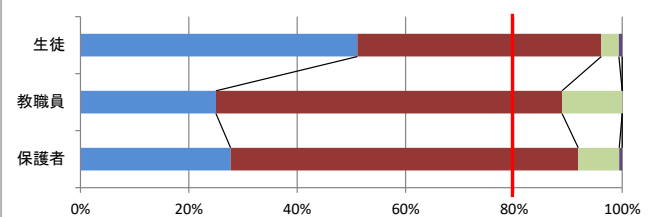
(2)授業は分かる



(3)読書が好き



(4)人権を尊重した言動



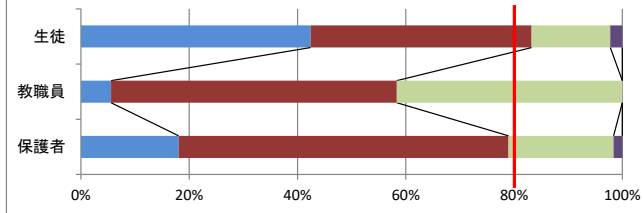
(1)(2)(4)は、生徒、保護者・教職員のいずれも指標を達成し、大変良い状態です。

(1)について、学級生活満足度調査(QU)や教育相談だけでなく、一人一人の生徒の良さを認める取組を続けていきます。(4)は、(1)の学校生活や(2)の授業とも大きく関連するため、「専門職としての自覚」「生徒への愛情」「範を示す」行動に努めます。

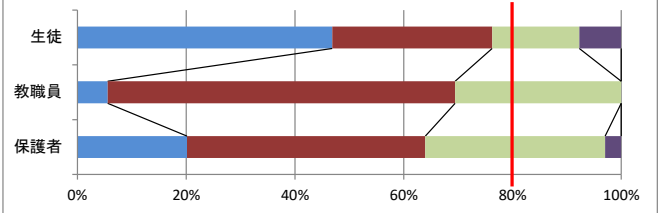
(3)は、朝の読書は定着し、時間前に読書を始める生徒も多く見られます。家庭で読書する姿が見られないことが保護者の回答からうかがえます。朝の読書に目的を持たせ、読書を通じた意味のある行為につなげたいと考えます。

学ぶ力を育む

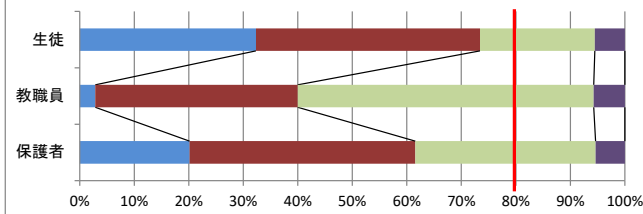
(5)自分の考えを述べる



(6)将来の夢や目標



(7)家庭学習の習慣

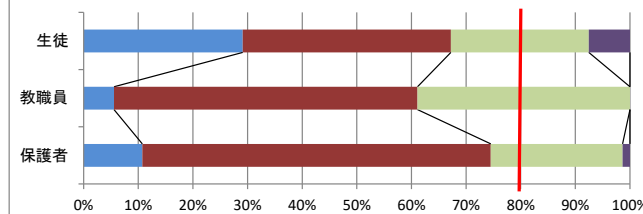


(5)は、生徒は指標を達成し概ね良い状態です。授業中、1時間の授業を振り返る際に、自分の考えを発言したり、書いたりすることを丁寧に実践していきます。

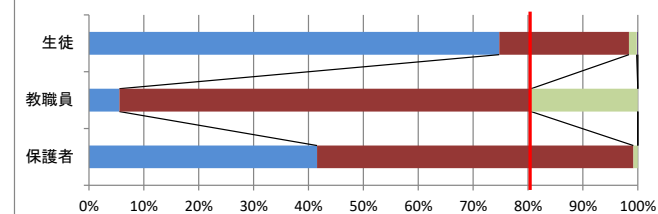
(6)(7)は、生徒、保護者・教職員のいずれも課題となりました。現在、「自分の興味あることを調べる」取組を行っていますが、家庭学習の習慣にはつながりませんでした。今後は、漢字や英単語など「誰でもできることを毎日行う」ことで学習の習慣化を図ります。学習への自信が、夢や目標とも連動していくものと考えます。

豊かな心を育む

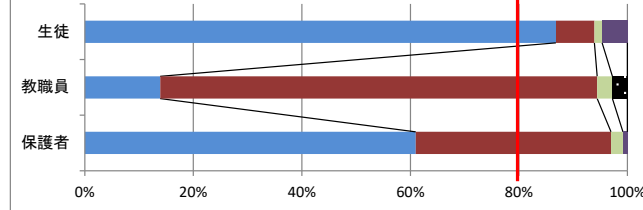
(8)自分の良さを見つける



(9)自他を大切にする



(10)いじめをしない

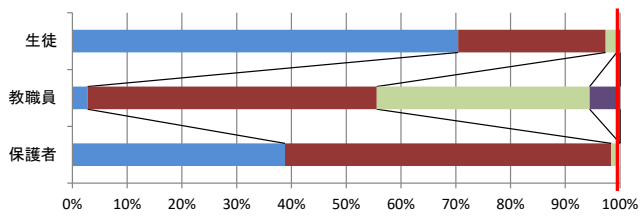


(9)(10)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し良い状態にあります。生徒・保護者と教職員とで認識の差は見られます。教職員は、学校全体を把握していること、他に対してさらに思いやりの気持ちを抱いてほしいとの期待が込められています。今後、生徒に対して励ましの言葉かけを増やしていきます。

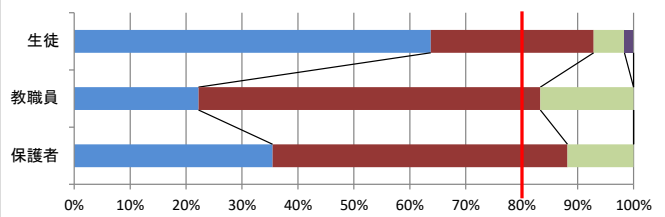
(8)は、生徒、保護者・教職員のいずれも課題となりました。学校行事や部活動を十分に行うことができなかったことが原因と考えられます。自分の良さとは何かを改めて考えさせるとともに、良さを見つけ合う活動を取り入れます。

健やかな体を育む

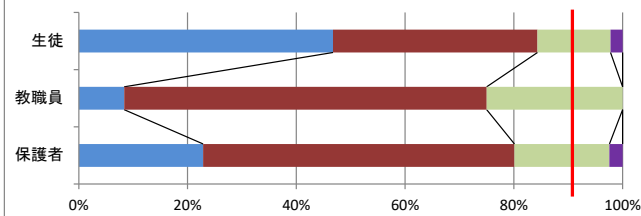
(11)登下校の安全



(12)けがや病気の予防、健康の増進



(13)規則正しい生活習慣

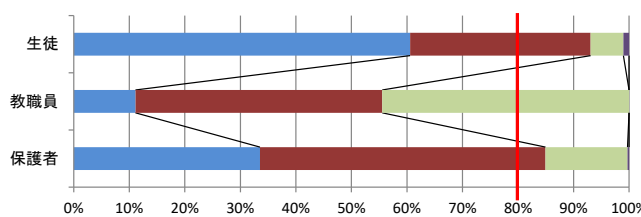


(12)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し大変良い状態にあります。新しい生活様式の下、マナーを守った生活が浸透していることが要因と考えます。今後は、給食の残量を減らすことに力を注いでいきます。

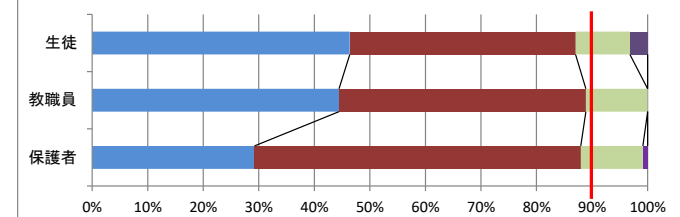
(11)(13)は、生徒、保護者・教職員のいずれも課題となりました。登下校時の生徒の様子に関して、地域の皆様から何度かご指摘を受けました。時間にゆとりを持ち、ルールを順守する指導を継続します。また、朝の健康観察は、必ず生徒と目を合わせて様子を確認し声を掛けていきます。

地域とともにある学校

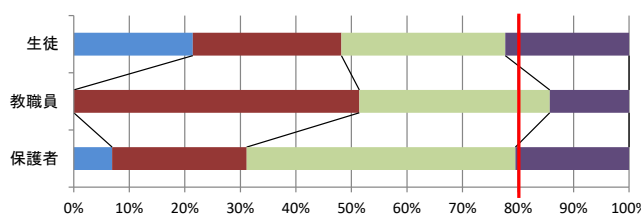
(14)学校内外であいさつ



(15)教育活動を発信



(16)地域行事への参加



(15)は、生徒・保護者・教職員ともやや課題となりました。学級通信、学年だより、学校だより、ホームページの内容を校内でも閲覧できる場所を設置したり、QRコードを掲載したりする取組を新たに行います。

(14)は、生徒と保護者・教職員との意識に差が見られます。生徒会も課題意識をもち、部活動ごとに新たにあいさつ運動を行う計画を立て、実践します。

(16)は、地域行事そのものが実施されませんでした。一方で、多くの保護者や地域の皆様に、学校支援ボランティアとして協働していただいたことは今年度の大きな成果です。